

平和が丘防災タイムズ 第26号

平和が丘学区防災委員会

梅の花があちこちで満開となりましたね。皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、平和が丘防災タイムズ第26号では、名古屋市の防災への取り組みなどを紹介します。

○名古屋市の防災への取り組み（抜粋）

名古屋市は、過去に伊勢湾台風や東海豪雨等の災害を経験し、南海トラフ巨大地震の発生も危惧されています。南海トラフ巨大地震が発生すれば、名古屋市でも甚大な被害が出ると想定されていますが、適切な対策が講じられれば被害を大幅（約5分の1）に軽減できると言われています。

名古屋市のホームページでは、防災や減災への取り組みが紹介されていますので、その一部を抜粋して紹介します。なお、これらの情報や、家庭・地域での防災に役立つ情報は、名古屋市の「防災ピックアップ情報」などに詳しく掲載されていますので是非見てみてください。



防災ピックアップ情報

「<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/20-2-23-0-0-0-0-0-0-0.html>」

情報提供・情報発信	
災害情報の発信	防災スピーカー(音声)、テレビやラジオによる報道、名古屋市ホームページ、緊急速報メール、電子メール(きずなネット防災情報)、広報車、救助地区本部や消防団などによる地元への広報
地図情報(防災マップ)	地震・津波・洪水・内水ハザードマップの提供 徒歩帰宅支援マップの提供
名古屋市地震防災アプリ(スマートフォンやタブレット端末)	名古屋市における予測震度、液状化可能性、津波浸水深、津波浸水開始時間の被害想定や避難所、広域・一時避難場所、津波避難ビルの避難所情報を表示するアプリの提供
その他	ウェザーニュース「なごや減災プロジェクト」と提携した市民投稿による災害情報の提供 名古屋市防災Twitter(Twitterアラート)、名古屋市防災Facebook、Yahoo!JAPANを活用した防災情報の発信 など
防火防災活動の一例	
防災訓練	総合水防訓練や防災訓練の計画と実施
防火防災活動の支援	平常時に地域が主体的に取り組む様々な防火防災活動の支援
総合防災情報システム	
指令管制システム	119番受付から消防署への出動要請、出動した消防部隊の統制などを行います
画像伝送システム	市内3カ所に設置した災害用高所監視カメラや消防ヘリコプター搭載カメラの映像を市役所等で確認し、対策に役立てます。また通信衛星を使って国や他都市にも映像を伝達します
防災行政無線	大規模災害時における情報連絡活動を確実に行うとともに、緊急防災情報を市民の皆様に迅速に伝えるための通信網です
水防情報システム	市内の降雨量と河川水位を観測するとともに、愛知県の水防情報と気象会社の気象情報を加え、水防に役立てます

○災害用発電機が配備されました

今年1月26日に、名古屋市震災対策実施計画に基づき、平和が丘学区に災害用発電機や投光器等が配備されました。今回配備されたものは、発電機・投光器・投光器用三脚・コードリールがそれぞれ2台ずつと、発電機の燃料として使用する交換用カセットボンベ（ブタンガス）3日分や潤滑油1リットルです。

これらは、平和が丘小学校の防災倉庫に保管し、非常災害時の他、防災訓練などで使用していきます。

○交通・防犯委員会の役割と活動

平和が丘学区では現在、全自治会で22名の交通・防犯委員が活動しています。

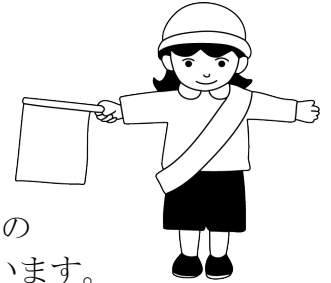
主な取り組みは毎月5の付く日、小学生が登校する時間帯に所定の場所に立ち、児童が安全に登校出来る様、見守り・誘導などを行っています。同時に大きな声で「おはようございます！いってらっしゃい！」等と声をかけています。

また、平和が丘学区や名東警察署主催の行事等にも参加しています。

これらの活動について、詳しくは学区のホームページに記載していますので「平和が丘だより」で検索し是非ご覧ください。

今後も児童が元気に安全に登校出来ますよう、学区の皆様のご協力をお願い致します。

(交通・防犯委員 西川)



□防災お役立ち情報（平和が丘学区の地図）



インターネットが普及している今、いろんな地図や航空写真を見ることが出来ますね。例えば、埼玉大学教育学部 谷 謙二先生の「今昔マップon the Web」では、明治期以降の新旧の地形図を切り替えながら表示することができます。(http://ktgis.net/kjmapw/index.html)

文献によると、平和が丘学区の辺りは江戸時代には「猪子石村」であり、明治に入り周辺の村と合併し「猪高村」となった後、名古屋市に編入して「千種区猪高町」となったようです。その後、昭和50年2月1日に猪高町が千種区から分離し名東区として誕生しました。(参考文献「名東区制20周年記念誌」「地名あいち」等)

ところで、名古屋市が提供する「名古屋市都市計画情報提供サービス」では、名古屋市の都市計画情報や過去(昭和30～昭和57年)の空中写真、「地震災害危険度評価図情報(地図)」なども見ることができます。(http://www.tokei-gis.city.nagoya.jp/index.asp)

南海トラフ巨大地震が発生した時の平和が丘学区の想定震度は、おおむね「震度6弱」と大きな揺れになりますが、地震災害危険度評価図情報によると、平和が丘学区での建物倒壊や道路閉鎖の危険性および火災延焼の危険性は他の場所と比べると比較的少ないようです。

とは言え、あくまで想定であり、現実に災害が発生した時に何も影響がないとは言い切れないため、日頃から避難所の場所や避難経路を確認しておくことや、定期的な防災訓練は必要ですね。学区および各自治会では、毎年定期的に防災訓練を開催していますので、是非積極的に参加し非常時に備えていただくようお願いいたします。

<編集後記> 2週間ほど前に天白区の名古屋市農業センターに行きましたが枝垂れ梅が満開でした。梅が過ぎれば桃、そして桜と、暖くなるこれからの季節は花を見に行く楽しみもいっぱいですね。(編集 前島)



平和が丘学区ホームページ
http://heiwagaoka.jimdo.com/